

平成20年10月9日

保護者の皆様

広島市立本川小学校
校長 空 間 浩 道

「基礎・基本」定着状況調査結果について

今年度の「基礎・基本」定着状況の結果が出ましたのでお知らせします。

この調査は、広島県内すべての公立小学校5年生に対して、「国語」「算数」「生活と学習に関する意識・調査」について行ったものです。平成14年度から始まり、今回で7回目の調査となります。その結果は次のようになりました。

< 国語の通過率 >

	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
学校	75.7	87.0	78.9	75.6	70.4
市	66.4	82.0	58.3	61.3	67.4
県	67.4	82.1	62.0	60.6	69.1

< 算数の通過率 >

	教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係
学校	81.5	91.5	72.0	67.7	86.1
市	75.8	84.6	69.6	66.6	76.4
県	76.1	85.0	69.4	67.0	76.8

学習の定着度（通過率）は、国語・算数ともに県、市の平均を上まわっています。しかし、補っていかねばならない課題も見えてきました。また、生活の改善に関しては学校と家庭とで一層の取り組みを必要とすることも明らかになっております。詳細をご覧いただき、ご家庭でのご指導にもお役立てください。特に生活習慣の獲得のために、力を入れて共に取り組んでいただけたらうれしく思います。

学習について

<国語>

- ・ 「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の各領域において、ほぼ定着している。
- ・ 「読むこと」の中で、文の意味を考えながら、適切な語をつかったり、段落相互の関係を考え、文章を正しく読んだりすることを苦手としている。
- ・ 「言語事項」で、中学年の漢字の読み書き、ローマ字書きを苦手としている。

<算数>

- ・ 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の各領域において、ほぼ定着している。
- ・ 「量と測定」の中で、かさの単位の理解や面積の比較を苦手としている。
- ・ 「図形」の中で、正三角形の定義の活用を苦手としている。
- ・ 「数量関係」の中で、ともなってかわる2つの数量の決まりを活用することを苦手としている。

生活と学習に関する意識・実態について

<生活について>

- ・ 「将来の夢や目標をもっている」「将来の夢や目標は、かなうと思う」という回答の割合がいずれも高いことから、前向きに毎日の生活を送っている児童が多い。
- ・ 「自分にはよいところがある」「努力すれば自分はたいいのことはできる」と思っている児童の割合は高いが、「自分のよさは、周りの人から認められている」と感じている児童の割合は低く、人とのかかわりの中で自分のよさを認められていると感じる体験が少ないと言える。
- ・ 「地域や子ども会などの行事に参加している」「社会の出来事や事件などに関心がある」の割合が低いことから、地域社会や人とのつながりが薄い傾向にある。

<学習について>

- ・ 「学習を最後までやりとげて、うれしかったことがある」に対する回答が95%を越え、その達成感から「もっと力をつけたい」「分かるようになりたから勉強している」「分かるまで努力している」と学習動機や意欲をもっている児童が多い。勉強は、「やりなさいといわれるから勉強している」とか「ほめられたいから」やるのではなく自分自身のためにと明確な視点をもっている児童が多い。

<教科の学習に関する調査>

- ・ 算数の学習では、「図形」の面積を求めたり、「文章題」を解く時に、いろいろな角度から問題をとらえ解き方を工夫しようとしている。
問題の解き方について、教師や友だちの説明を、自分の考えと比べながらよく聞いているが、自分で理由をあげて考えや解き方を説明することには抵抗感を示している。
- ・ 国語の学習では、「聞く・話す」ことに課題があり、相手の言いたいことをつかんだり、話の中心をうまく相手に伝えたりすることに苦手意識をもっている。

本校ではこれまで、「基本的な生活習慣の定着」を児童の課題と考え、生活調べの実施などによって実態を把握しながら、ご家庭との連携をとり、取り組んできているところです。

この調査結果からも明らかなように、朝食を食べない児童が9.8%いることや、就寝時間が不規則で定まった時間に寝ることができていないことなどが課題としてあげられます。生活リズムづくりについては、ご家庭の協力なしには進めることが出来ません。これからも取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力ください。

また「自己肯定感」は、他者と社会的なかかわりの中で認められることにより生まれると言われています。かかわりあいの中で個が認められる機会を増やすことで、自信をもたせるようにしたいと思います。

学習面においては、より一層基礎基本を充実させ、思考力、判断力、表現力が身に付くよう指導方法を工夫・改善しながら、「できる」「わかる」授業をめざしていきたいと思っております。今回課題としてあげました「聞く・話す」については、意見交流のできる環境を整え相手意識をもちコミュニケーションを図る力を培っていきたくて考えております。

今後とも、本校教育のためご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。